出題意図 問題 1

【問題 1】 次の 2 つの文章を読んで、(1) から (3) の問題にすべて答えなさい。

- (1) 文章 1 に則して、イノベーションの正の影響についてまとめなさい (300 字以上, 400 字以内)。
- (2) 文章 2 に則して、イノベーションの負の影響についてまとめなさい (300 字以上, 400 字以内)。
- (3) 文章 1 と文章 2 の内容を踏まえて、今後の日本において、どのようにイノベーションと向き合うことが望ましいかについて、あなたの考えを述べなさい (700 字以上, 800 字以内)。

【出題意図】

- (1) この設問では、文章 1 を読み、経済成長へのイノベーションの効果をまとめることが求められている。著者は、経済成長は、人口、特に労働力人口の増加のみで決まるものではなく、イノベーションによって引き起こされるものであると主張する。経済成長率と人口の伸び率の差には、一人当たりの労働者がつくり出すモノを指す、労働生産性が関わっている。労働生産性の上昇は、労働者の頑張り、やる気、体力ではなく、イノベーションなどによってもたらされる。イノベーションはテクノロジーだけでなく、ノウハウや経営力なども含まれる。IT や AI などのイノベーションの登場によって、従来人間の行ってきた仕事が代替されるようになった。その結果、労働生産性が上がり、所得は増加した。人口減少する先進国において経済成長は不可能という主張は短絡的であり、イノベーション次第で経済成長は十分に可能である。これらの点に言及している解答を高く評価する。
- (2) この設問では、文章 2 を読み、イノベーションによる弊害についてまとめることが求められている。イノベーションには、既存のモノゴトを陳腐化し、代替する「創造的破壊」を引き起こす特徴がある。イノベーションによって、短期的には賃金が下がったり、失業が多くなったりする。ひいては、経済格差の拡大やイノベーションの浸透の阻害の可能性もある。さらに、イノベーションには、プライベートなコストとソーシャルなコストの 2 つを負担する必要がある。プライベートなコストとは、イノベーションそのものを生み出すために必要な費用である。他方、ソーシャルなコストとは、イノベーションの基礎となる研究の費用、そして、イノベーションによる環境問題や賃金低下・失業などの経済格差の問題を含むコストである。これらのコストの負担配分を考えなければ、イノベーションは阻害される。これらの点に言及している解答を高く評価する。
- (3) この設問では、文章 1 と文章 2 の内容を踏まえて、今後の日本におけるイノベーションとの向き合い方についての意見を述べるのが求められている。文章 1 からは、人口減少下における経済成長にはイノベーションが必要であることが読み取れ、文章 2 からは、イノベーションが「創造的破壊」を引き起こし、社会の不安定性を高める可能性が読み取れる。さらに、文章 2 では、イノベーションの負の側面への対処が必要であり、イノベーションのプライベートなコストとソーシャルなコストをどのように負担するかを考える必要があると述べられている。文章 1 と文章 2 は、イノベーションの正の側面と負の側面の異なる見解を述べている。どちらに軸を置いて記述してもかまわないが、両側面を踏まえて、自身の意見を論理的・具体的に展開することが求められる。なお、問題文から大きく離れた知見や見解を求めるものではないが、優れた洞察力がみられる場合は評価に含めることもある。